

**東急電鉄が新たにJTB商品を中心に据え、コンサルティングを強化した旅行代理店を出店
2009年10月22日(予定)、たまプラーザテラスに
「東急トラベルサロン」を開業**

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄株式会社（取締役社長 越村 敏昭 以下、当社）では、株式会社ジェイティービー（取締役社長 田川 博己 以下、JTB）の商品を中心に販売するとともに、コンサルティングサービスの質を高めた旅行代理店「東急トラベルサロン」を新たに立ち上げ、2009年10月22日（木・予定）、第1号店を「たまプラーザテラス・ゲートプラザ」に開業します。

今回出店する東急トラベルサロンでは、従来展開してきた「東急旅行センター テコプラザ」（以下、テコプラザ）との差別化を図り、旅行業界最大手で、テコプラザにおける商品シェアがトップであるJTB商品を中心に販売します。同社の商品をフルラインナップで取り揃えることにより、これまでテコプラザでは取扱いの少なかったウエディング商品やクルーズ旅行、さらには高額な国内旅行・海外旅行の取扱い増加も目指します。

また、東急トラベルサロンでは、コンサルティングサービスの質をより高め、お客さまひとり一人のこだわりにお応えしていくほか、JTBから人材の派遣を受けることにより、同社のノウハウ活用も図ります。

第1号店となる「たまプラーザテラス店」では、ゆったりとした空間で、じっくりと旅行のご相談をしていただけるよう、カウンターに仕切り板を設け、お客さまのプライバシーに配慮しているほか、小さなお子さま連れのお客さまでも周囲に気兼ねなくご利用いただける個室をご用意しています。また、旅行に関する書籍をご覧いただけるスペースも設置し、お客さまに気軽に立ち寄っていただける店舗とします。

当社では、たまプラーザ駅エリアにはすでにテコプラザを出店しており、今回の出店は同エリアで2店舗目となります。同一エリアに2店舗を出店するのは当社では初めてのことですが、たまプラーザテラスの開発進行により商圈拡大が見込まれることから、特色の違う2店舗を展開することで売上の拡大を図っていきます。

旅行業界では、インターネットを活用した販売が拡大しており、店舗間の競争は激しくなっています。このような状況下で、今後は「東急トラベルサロン」と「テコプラザ」の2ブランドで店舗展開を図り、競争を勝ち抜いていきたいと考えています。

なお、「東急トラベルサロン」の今後の展開については、今回の出店による効果を検証した上で、検討を進めていきます。

「東急トラベルサロン たまプラーザテラス店」の概要は別紙の通りです。

【別紙】

「東急トラベルサロン たまプラーザテラス店」の概要

店舗名称 東急トラベルサロン たまプラーザテラス店
事業主体 東京急行電鉄株式会社
開業日 2009年10月22日(木・予定)
所在地 横浜市青葉区美しが丘1-1-2 たまプラーザテラス・ゲートプラザ3階
(駅改札フロアは1階)
店舗面積 131.76㎡(39.86坪)
営業時間 10時～21時(予定) ただしカウンター業務は20時まで
定休日なし(年未年始を除く)
取扱目標 初年度年間取扱高:約7億円
店舗イメージ



(参考) 東京急行電鉄の旅行代理店事業の概要

店舗網

東急旅行センター テコプラザ 16店舗(2009年9月29日現在)

東京都内:7店舗

(渋谷、目黒、五反田、三軒茶屋、二子玉川、自由が丘、大井町)

神奈川県内:9店舗

(溝の口、たまプラーザ、あざみ野、青葉台、長津田、中央林間、武蔵小杉、日吉、菊名)

菊名は2009年10月14日、長津田、中央林間は同年10月15日に閉鎖予定

東急トラベルサロン 1店舗(2009年10月22日初出店)

神奈川県内:1店舗

(たまプラーザ)

取扱商品

JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、ジャルセールス、ジャルパック、ANAセールス、トップツアー、阪急交通社、東日本旅客鉄道など30社50ブランド以上

以上